

日々 往来



大山 陽久

最近、上場企業を中心に、コーポレートガバナンス強化の動きが急である。政府は「日本再興戦略」の一つの柱と位置付けて会社法を改正するなど、攻めの経営判断ができるよう、経営者マイノリティの変革を促している。東証によるコーポレート

コーポレートガバナンス強化の流れ

ガバナンス・コード策定、ス強化の具体策としてよもあって、日本企業の稼ぐ力が高まるとの期待が、制度は、いわば「よそ者」高まっており、これが株の意見を大切に、「鳥好調の一因ともなっている。

ところで、経営者に欠かれない視点として、ミクロ的に足元を見つめ直す「虫の目」、大所高所から物事全体を見る「鳥の目」、時代の流れを見極める「魚の目」が重要といわれる。最近では、既存制度にしがらみを持たない「若者」、旧来の価値観からはみ出た「バカ者」、従来の仕組みを批判的にみることができ、活用できるかが企業の明暗を分けるともいわれる。

コーポレートガバナンス

(日本銀行鳥取事務所)